

2021 年度活動計画書

NPO 法人海の森・山の森事務局

●広報紙「大岡川ニュース」の発行

5/20、8/20、11/20、2/20 の発行予定。コロナウィルスによる広告出稿企業減少が懸念されるため、毎号 4,000 部にて発行予定。

●小学校、中学校、高等学校への環境出前授業の実施

教室での対面授業、オンライン授業、現場での実習など、2020 年度中に培った考えるあらゆるコロナ対策を講じながら実施します。子どもたちや学生と、海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック撲滅に向けたプロジェクトを展開します。

●「プラごみバスターズ 神奈川県海岸線 435.09km を踏破する！」

この企画を、昨年 4 月に県西端・湯河原からスタート。すでに江ノ島まで到達しているので、今年度は三浦半島西岸の海岸を油壺付近まで踏破予定。踏破しながら、ごみを拾い、県内のどの海岸のごみが多いかなどを調査しながら進めます。ドローンも使い、空撮による海岸線も取材し、ごみの分布と海岸線のデータベースを作ります。この企画は、前出の大岡川ニュース 5 でも連載し、動画版は YouTube にアップし、当 NPO ホームページでシリーズ企画として閲覧できます。

●大岡川 PGT (P プラスチック G ごみ T 獲ったどお) 大作戦の実施

毎月 2 回、第一土曜日に井土ヶ谷エリア、第三土曜日に日ノ出町・黄金町エリアで実施します。

●城ヶ島沖海底のプラスチックごみ拾い・漂着プラスチックごみ拾い

ボランティアダイバーを募り、城ヶ島沖の海底に沈むプラスチックごみを拾います。年 2~3 回、城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合との協働で実施します。

海岸の漂着プラスチックごみ拾いは、城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合、横浜市の小学校、釣具メーカーのグローブライド社（旧社名ダイワ精工）との協働で 6 回実施予定。

●茅ヶ崎沖海底のプラスチックごみ調査と回収・茅ヶ崎海岸のマイクロプラスチック粒子採取

ボランティアダイバーを募り、茅ヶ崎沖の海底に沈むプラスチックごみの調査と回収。年 3 回、地元のダイビングショップとの協働で実施。

海岸のマイクロプラスチック粒子回収は、横浜市の小学校との協働で実施予定。

●レコプラダイエットでそもそものプラごみを減らします

レコプラダイエット（現在商標登録申請中、今夏登録完了予定。Recording Plastic-waste Diet）。自分や自分の家庭から出してしまうプラスチックごみを記録したり、検証したりすることで減らしていく活動。現在 Facebook ページで展開中。いろいろな企業や団体と協働で進め、そもそものプラごみを減らしていきます。